

8

単位量あたりの大きさ(2) →7へ

年 組 番 名前

わたしたちの生活の中では、「1個あたり いくら」、「1ふくろあたり いくつ」というように、単位量あたりの大きさを調べてくらべることがよくあります。

この場合の「1個」や「1ふくろ」といった、もとになる量のことを「**単位量**」といいます。

練習1 A、B 2台の自動車があります。Aの自動車は、45Lで500km走れます。Bの自動車は、50Lで600km走れます。

①どちらの自動車のほうが、ガソリン1Lあたりで長い距離を走れるでしょう。

式

答え の自動車のほうが、ガソリン1Lあたりで長い距離を走れる。

②どちらの自動車のほうが、1km走るのに多くガソリンを使うでしょう。

式

答え の自動車のほうが、1km走るのに、ガソリンを多く使う。

練習2 たかしさんの家では10本のりんごの木から4800個のりんごがとれました。あやかさんの家では12本のりんごの木から5000個のりんごがとれました。どちらの家のほうがよくとれたといえますか。1本あたりにできたりんごの数でくらべましょう。

式

答え の家のほうが、よくとれたといえる。

練習3 Aの魚屋さんでは、4尾のさんまを640円で売っています。Bの魚屋さんでは、6尾のさんまを900円で売っています。どちらの店のほうが安いですか。1尾あたりの値段でくらべましょう。

式

答え の魚さんのほうが安い。